



平成10年9月30日

中野区長
神山好市 殿

社団法人 日本建築家協会(J I A)関東甲信越支部
支部長 服部範二
保存問題委員会 委員長 兼松紘一郎
中野地域会 代表 石井千歳

野方配水塔の文化財登録に関する要望書

謹啓 区長におかれましては ますます ご清祥のことと お慶び申し上げます。

日頃より当協会 並びに私どもの地域会活動に 格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、中野区で所有されている 旧 荒玉水道 野方配水塔～通称「水道タンク」～につき
お願いがございます。

この給水塔は昭和3年から今日まで、現役の水道施設として機能し続け、地域のランド
マークとして親しまれて来ました。貴区が昭和62年に「中野区まちづくり百選」の一
つとして この塔を選ばれたことは、まさにこのことの反映であると同時に、貴区内に
残ったいわゆる「近代化遺産」の価値に対する、意義あるご配慮と存じます。

今日、完全な姿で保存されている 都市近代史の証言者としては、この給水塔こそが
貴区内で唯一のものになってしまったこと、震災後当時の時代精神をよく形に留めているこ
と、この独特のキューポラを戴いた塔が都市施設として今日珍しいたたずまいを持つこと、
等々に鑑み、この「水道タンク」を ぜひ、一昨年来の国の新しい文化財登録制度に新規登
録して頂きたく、ここにお願い申し上げます。

全国各所の配水施設が その文化的意義から次々と登録されていますが、これらに比し
ても この野方配水塔は、設計者の故 中島鋭二博士(近代水道の第一人者)の代表作品の
一つでもあり、上記に照らし 十分以上の価値を有することは疑う余地もありません。

文化財登録により、貴区のまちづくりの 文化的な奥行きが顕彰され、また広く市民の
方々が都市景観への理解を深めるきっかけとして頂けるよう、ここに当協会より、(また
中野地域会「J I A中野クラブ」のメンバーは住民の立場からも)、重ねてご高配をお願い
申し上げます。

敬白